

術前化学療法後の肝機能（肝予備能）と血液検査値の関係について の研究

1. 研究の対象

2012 年 1 月～2025 年 12 月に当院で膵臓がん、または大腸がんの肝転移に対して、手術前に抗がん剤治療（化学療法または化学放射線療法）を受け、手術前に ICG 検査（肝臓の働きを調べる検査）を受けられた方

2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日～2029 年 3 月 31 日

研究目的：手術前に抗がん剤治療を受けられた患者さんについて、通常の血液検査の値から肝臓の働き（肝予備能）を推定できるかどうかを明らかにすることです。

研究方法：研究対象者の方の診療録（カルテ）を後ろ向きに調査し、ICG 検査の結果と、手術前の血液検査から計算される総ビリルビン値、血小板数、Fib-4 index、ALBI score との関係を統計学的に検討します。この研究のために新たに検査や採血を行うことはありません。

なお、本研究は当院の研究費で実施し、企業等からの資金提供は受けていません。

研究課題名：術前化学療法後の肝予備能評価における Fib-4 index および総ビリルビン値の有用性に関する後方視的研究

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、診断名、抗がん剤治療の内容、手術の種類、ICG 検査の結果、血液検査の結果（総ビリルビン、アルブミン、血小板数、AST、ALT、ALP）、カルテ番号 等

試料：用いません

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 消化器外科 阪野 佳弘

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：消化器外科 小林 省吾

-----以上